

**(2) 住宅の配置の概況**

調査区域は、市街地に位置し、住宅は全域に広く分布しています。また、図 4-2-13 に示すとおり、人口集中地区（DID 地区）が存在します。



## 2.6. 下水道の整備の状況

調査区域内の対象市における下水道整備状況は、表 4-2-16 に示すとおりです。また、周辺の公共下水道処理施設は、表 4-2-17 に示すとおりです。

愛知県内の汚水処理人口普及率は 93.2%、下水道処理人口普及率は 81.5%です。豊橋市は汚水処理人口普及率、下水道処理人口普及率ともに愛知県全体を下回っており、田原市も汚水処理人口普及率は上回っているものの、下水道処理人口普及率は大きく下回っています。

調査区域の公共下水道処理場は図 4-2-14 に示すとおり、五並処理場、高根処理場、豊南処理場、富士見台処理場、中島処理場、田原浄化センターの 6 箇所が存在します。

愛知県では、下水道事業を推進するため平成 11 年 3 月に「あいち下水道整備中長期計画 (AquaDreamPlan)」を、平成 19 年 3 月に「あいち下水道整備中長期計画改訂版 (AquaDreamPlan II)」(以下、「前ビジョン」という)を策定し、あいちの下水道事業の方向性を示しました。

前ビジョンにおける中期計画の整備目標年度を迎えるとともに、下水道を取り巻く社会経済情勢の変化や、国による新たな施策(「新下水道ビジョン」の策定(平成 26 年 7 月)、下水道法の改正(平成 27 年 5 月))等、愛知県の下水道事業に関連する状況が変化していることから、前ビジョンを見直し、新たに「あいち下水道ビジョン 2025」(平成 28 年 11 月、愛知県)(以下、「新ビジョン」と記載)を策定しました。

新ビジョンは、あいちの下水道の将来を展望(長期構想)したうえで、今後 10 年程度で取り組むべき施策(中期計画)を示し、今後、個々の下水道計画策定時の羅針盤として位置付けるものです。

表 4-2-16 下水道の整備の状況

行政区分	人口 (人)	汚水 処理人口 (人)	下水道 処理人口 (人)	汚水処理 人口普及率 (%)	下水道処理 人口普及率 (%)
豊橋市	367,142	338,562	277,516	92.216	75.588
田原市	58,606	57,121	32,775	97.466	55.924
愛知県	7,481,790	6,970,709	6,100,794	93.2	81.5

注) 令和5年度末の集計結果である。

出典:「令和6年度愛知の下水道(資料編)」(愛知県建設局下水道課)

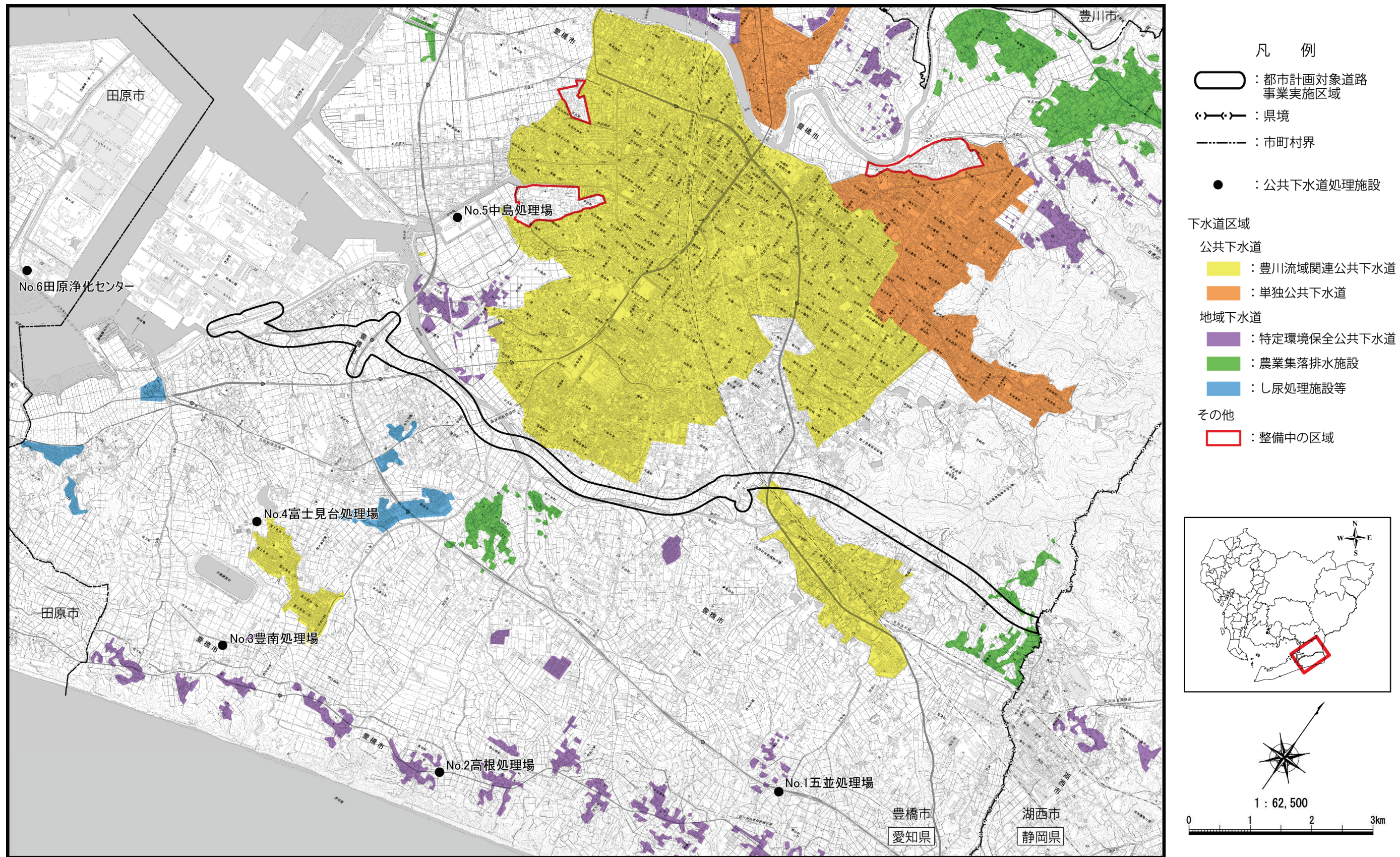
表 4-2-17 公共下水道処理施設

No	処理場	所在地	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	供用開始	
1	五並処理場	豊橋市細谷町字袴田 15 番地の 21	1,500	昭和 63 年度	
2	高根処理場	豊橋市高塚町字中保部 114 番地	600	昭和 52 年度	
3	豊南処理場	豊橋市西赤沢町字南ノ谷 150 番地	800	昭和 56 年度	
4	富士見台処理場	豊橋市富士見台一丁目 14 番地の 2	5,100	昭和 61 年度	
5	中島処理場	豊橋市神野新田町字中島 75 番地の 2	合流	80,000	昭和 48 年 7 月
			分流	37,500	平成 23 年 3 月
6	田原浄化センター	田原市緑が浜 4 号 1-15	16,800	平成 3 年 4 月	

注) 地点番号は図 4-2-14 に対応する。

出典：「下水道施設の紹介 地域下水道処理場」(豊橋市ホームページ)

「下水道処理施設概要」(田原市ホームページ)



出典：「下水道施設の紹介 地域下水道処理場」（豊橋市ホームページ）  
 「下水道処理施設」（田原市ホームページ）

図 4-2-14 公共下水道処理施設